2023年3月期第3四半期
決算説明会資料

2023年2月14日
株式会社イーディーピー
東証グロース （証券コード：7794）

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

目次

Ⅰ 当社の概要

Ⅱ 主要なポイント

Ⅲ 決算実績

Ⅳ 通期見通し

APPENDIX

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

I 当社の概要

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

EDP
Excellent Diamond Products

EXCELLENT DIAMOND PRODUCTS

ダイヤモンドも人工宝石(LGD*)に置き換えられる時代が迫る

*LGD＝ Laboratory Grown Diamond

**薄板状のダイヤモンド単結晶を製造し、
LGDの製造に必要な種結晶を販売。**

**種結晶の世界的なブランド企業である、
グローバルカンパニー**

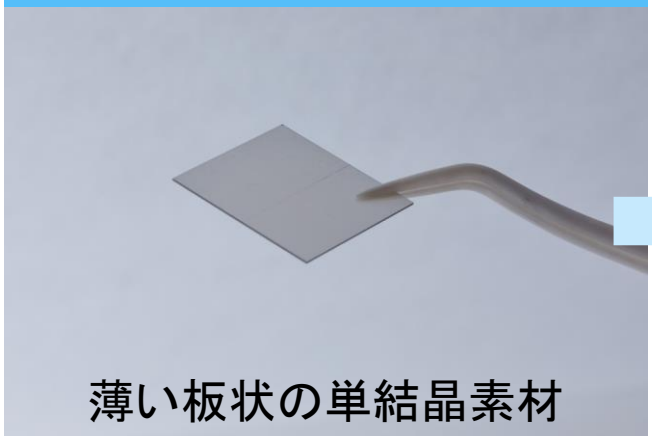
copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

LGDのサプライチェーン

LGD製造に必須の原材料を供給

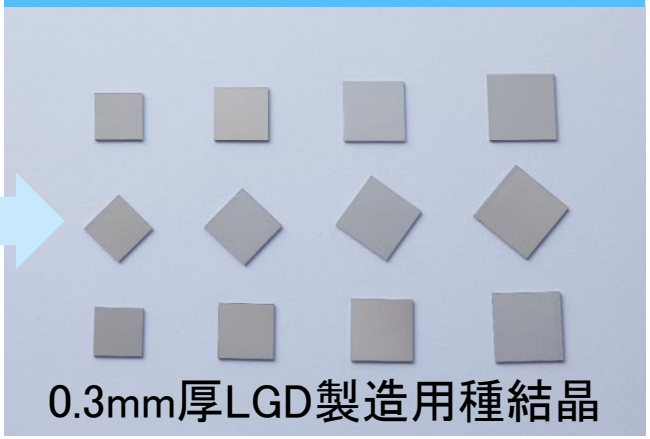
当社の主要製品

20x20x0.3mmのモザイク結晶
薄くて大きい結晶を直接作る技術



薄い板状の単結晶素材

1カラット～3.5カラットの宝石に
使用する種結晶を製作する技術



0.3mm厚LGD製造用種結晶

宝石に加工

4.5mm厚に
成長させた結晶

当 社

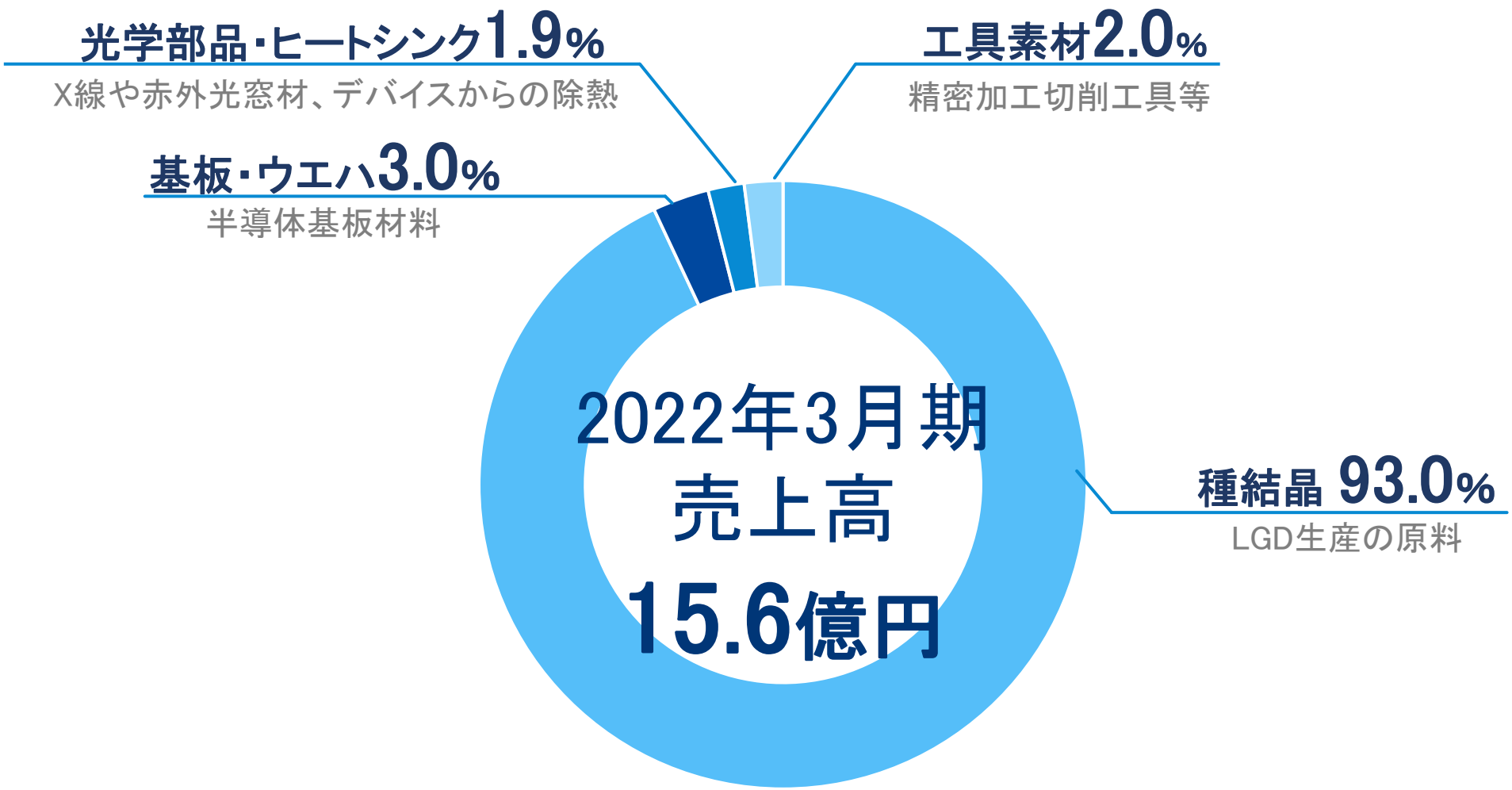
ユーザー企業

LGD＝ Laboratory Grown Diamond（人工宝石）

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

事業内容

製品分野別販売実績

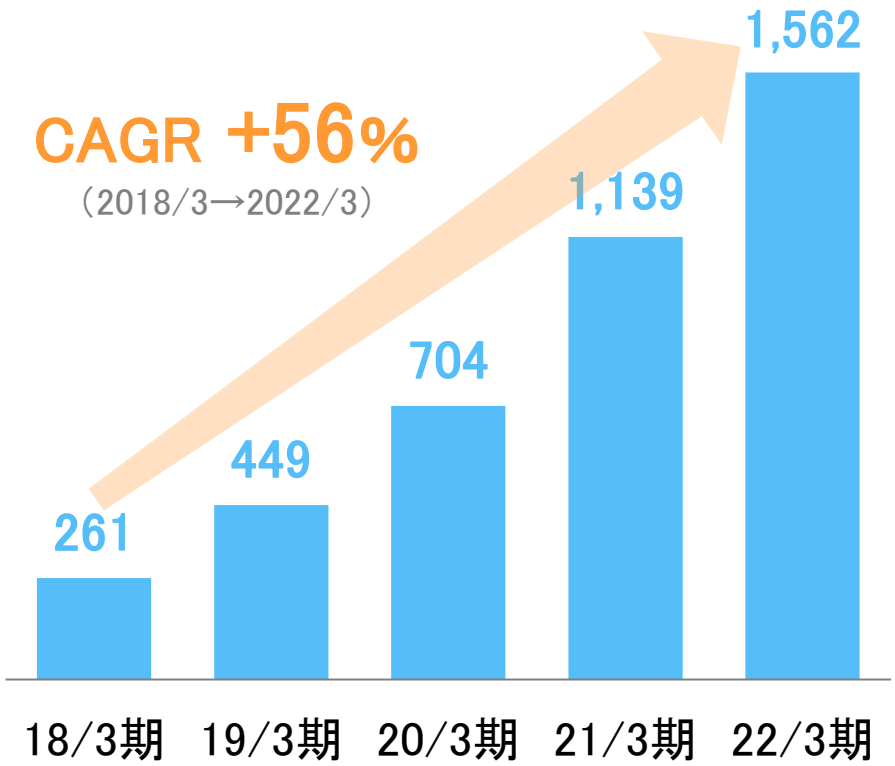


copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

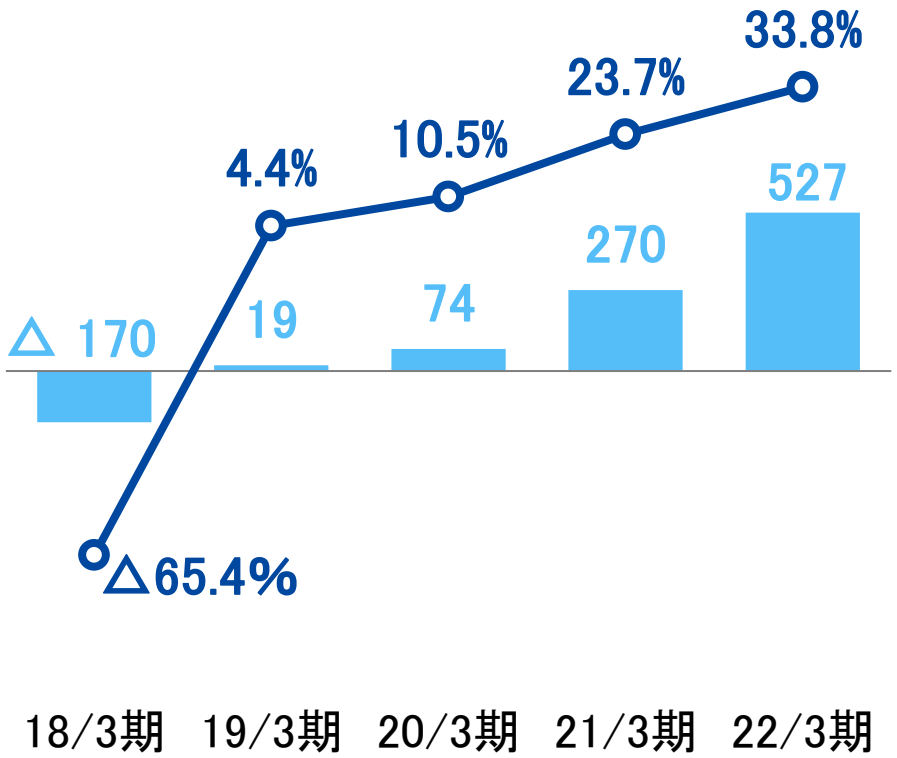
業績推移

市場が拡大するLGD製造に必須の原材料販売で、高成長率を実現

売上高
（百万円）



経常利益・利益率
（百万円）



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

Ⅱ 主要なポイント

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

主要なポイント

◆建設して来た島工場が11月に稼働し、生産能力が拡大した。種結晶生産効率も引き続き向上したので、当第3四半期売上、各利益は過去最高を記録した。

◆LGD市場は拡大は継続しているものの、小型宝石に供給過剰が見られ、価格低下が起こっている。種結晶ユーザーの一部は、小型宝石用種結晶購入量を減少させ、大型宝石用種結晶購入量を増やす方向にシフトした。

◆第4四半期は、当社の大口ユーザーは市場状況から小型宝石用種結晶発注を減らしたので、当社は生産余力が出る見込みで、これまで供給を控えて来たユーザーへの販売を進めている。為替が想定より円高となる見込みもあって、売上は抑えられる見込み。このため、11月11日に公表した2023年3月期業績予想の下方修正を行った。

◆引き続き、米国の金利政策等による為替相場の変動、エネルギー費高騰による動力費等の増加、人件費の増大について注視。

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

Ⅲ 決算実績

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

決算ハイライト（2023年3月期3Q累計）

EDP
Excellent Diamond Products

売上高
+89.4%
（前年同期比）

営業利益
+172.7%
（前年同期比）

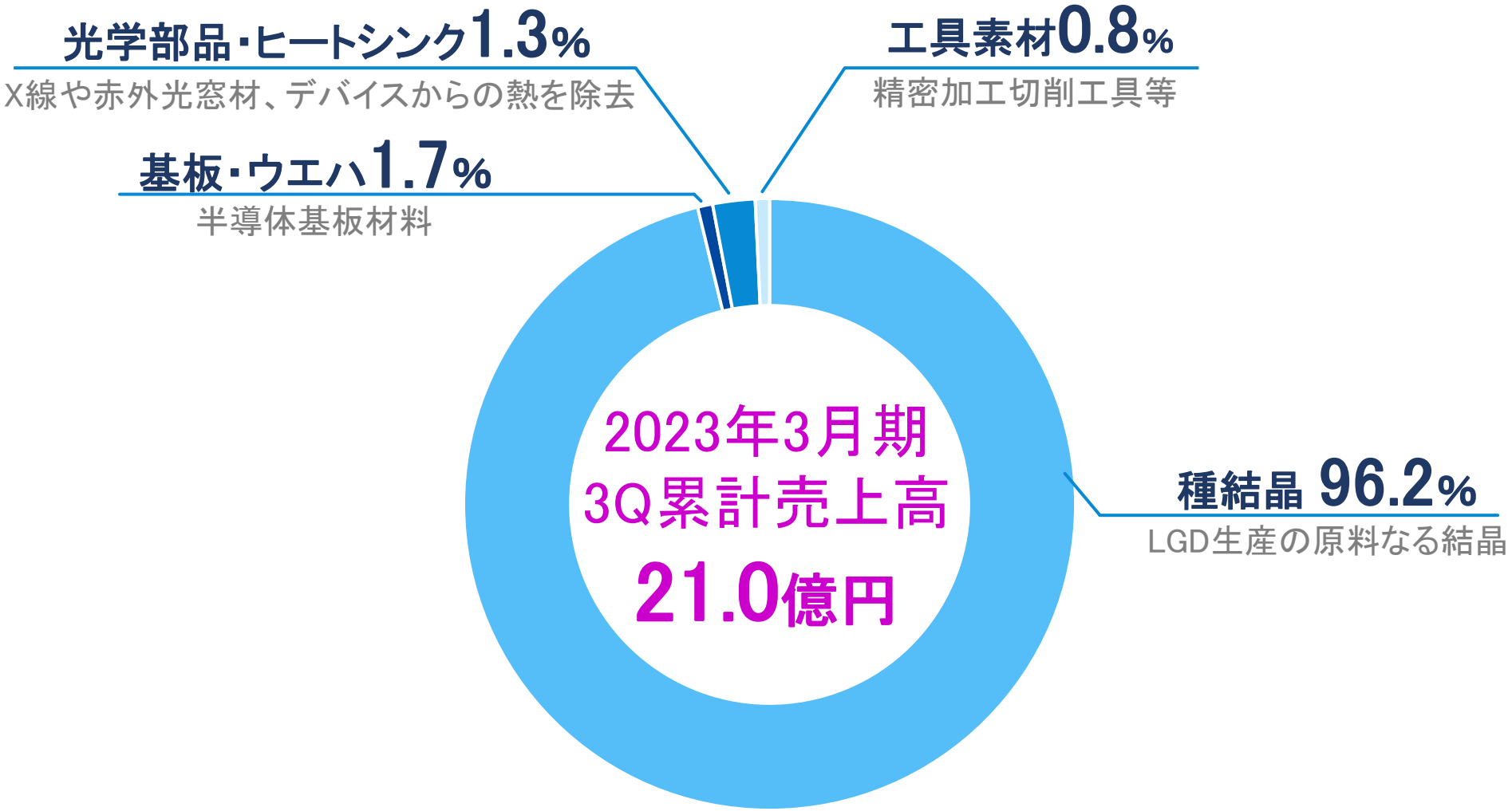
営業利益率
50.2%
（前年同期34.9%）

大型種結晶比率
（10×10mm以上）
40.3%
（前年同期2.28倍）

※前年同期は2022年3月期第3四半期累計実績（参考値）

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

売上高構成



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

決算概況

（百万円）	2021年度 3Q実績*	2021年度 通期実績	2022年度 3Q実績	2022年度 前年同期比	
売上高	1,110	1,562	**2,103**	+992	+89.4%
種結晶	1,038	1,453	**2,024**	+985	+94.9%
基板・ウエハ	29	47	**36**	+6	+21.3%
光学部品・ヒートシンク	20	29	**26**	+5	+28.5%
工具素材	21	32	**16**	▲5	▲24.1%
営業利益	387	520	**1,056**	+668	+172.7%
経常利益	392	527	**1,047**	+655	+166.9%
当期純利益	285	374	**727**	+441	+154.5%
成長能力（カラット）＊＊	110,000	110,000	**150,000**	+40,000	+36.3%
円/ドル（平均市場レート）	111.0	115.5	**135.9**	+4.9	+4.4%

*2022年3月期第3四半期実績は参考値　**成長能力は期間最終日値

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

四半期別決算概要

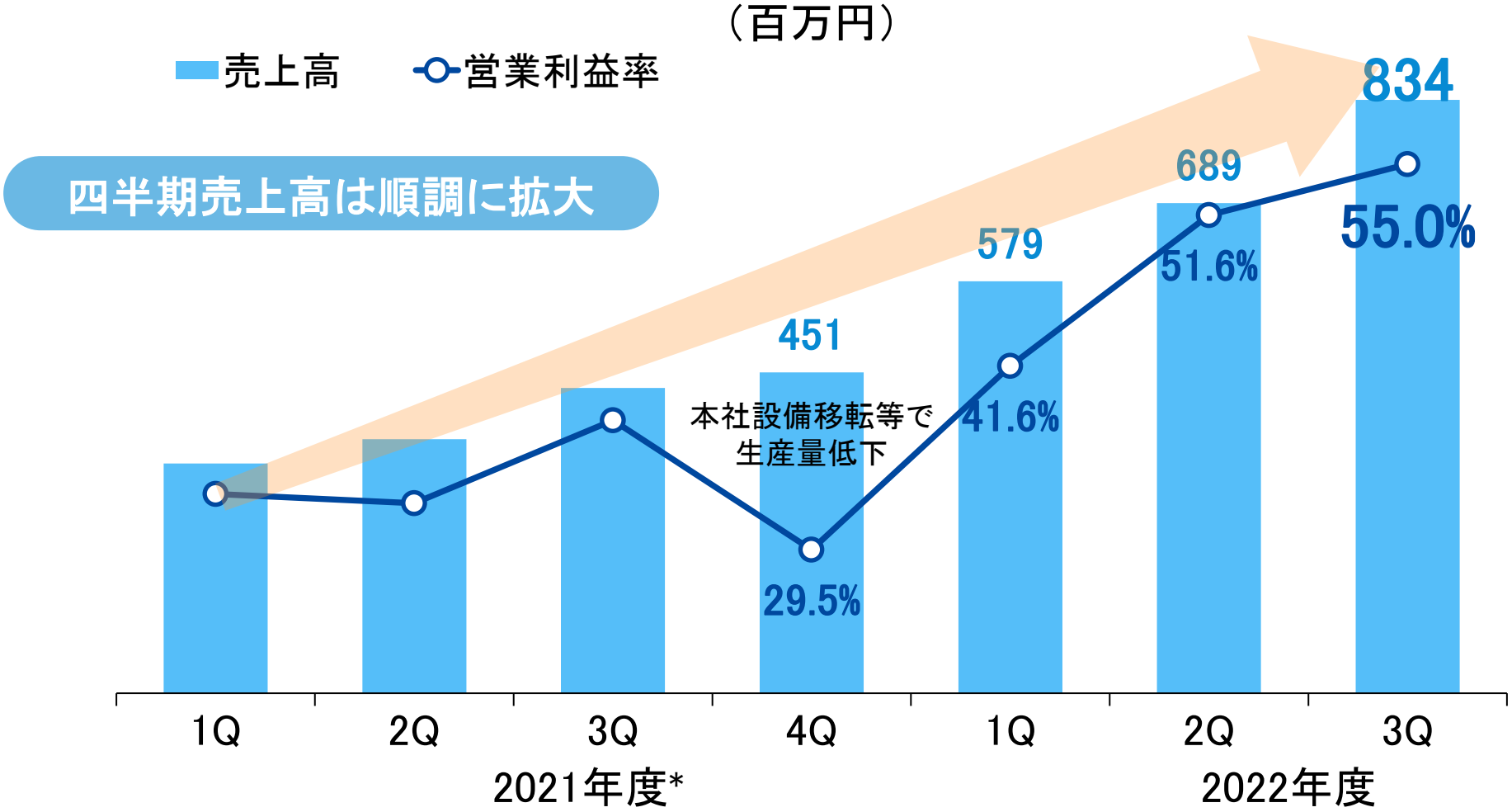
（百万円）	2021年度 1Q*	2021年度 2Q*	2021年度 3Q*	2021年度 4Q	2022年度 1Q	2022年度 2Q	2022年度 3Q
売上高	323	357	429	451	579	689	834
種結晶	302	339	396	414	557	671	795
基板・ウエハ	8	7	13	16	4	6	25
光学部品・ヒートシンク	2	6	11	9	12	5	7
工具素材	9	3	8	11	4	6	5
営業利益	107	116	163	133	241	355	458
経常利益	105	118	169	135	272	376	398
当期純利益	88	84	112	89	197	262	267

*2022年3月期第1四半期～第3四半期は参考値

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

四半期別業績推移

売上高・営業利益率推移*

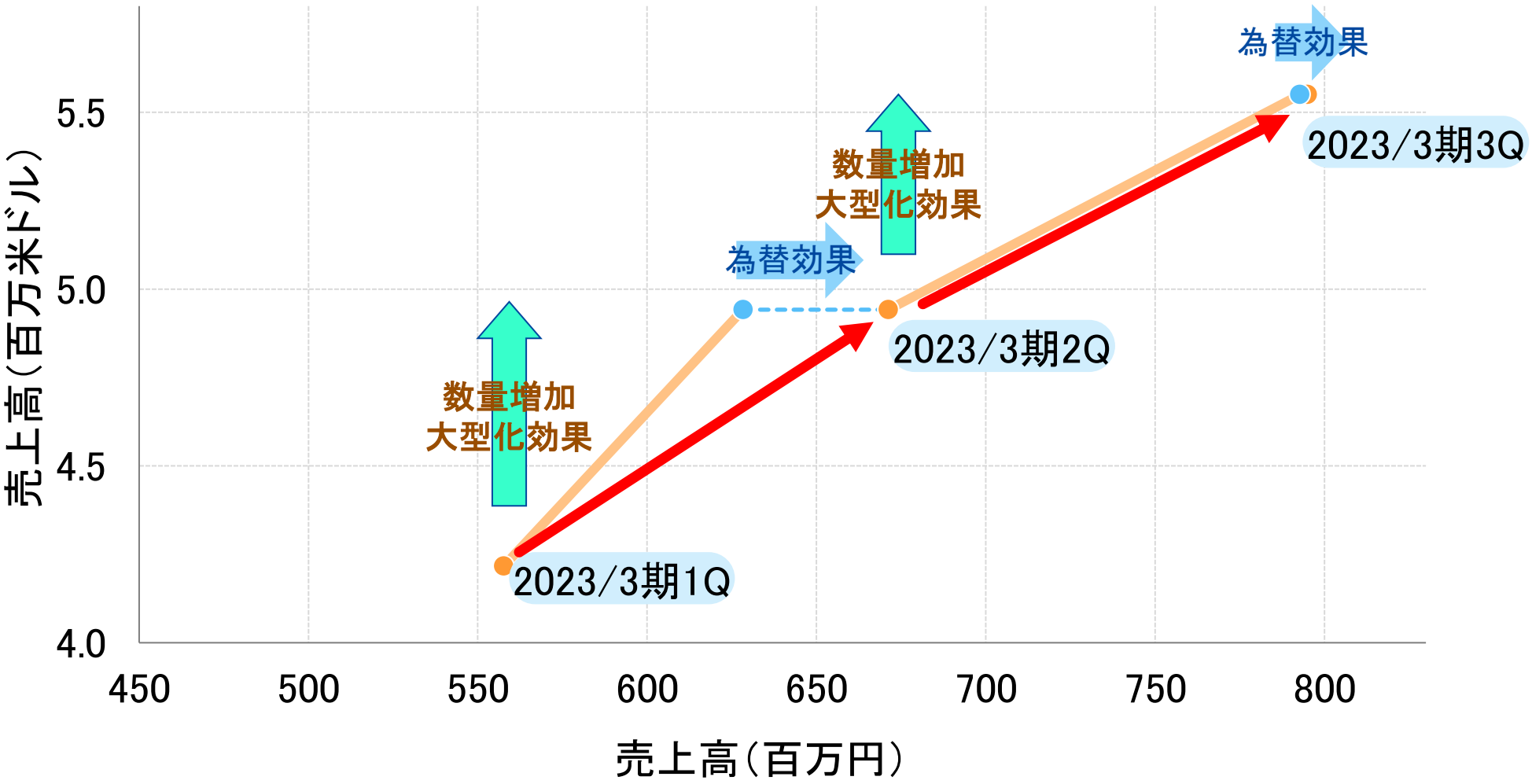


*2022年3月期第1四半期～第3四半期は参考値

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

売上増加要因

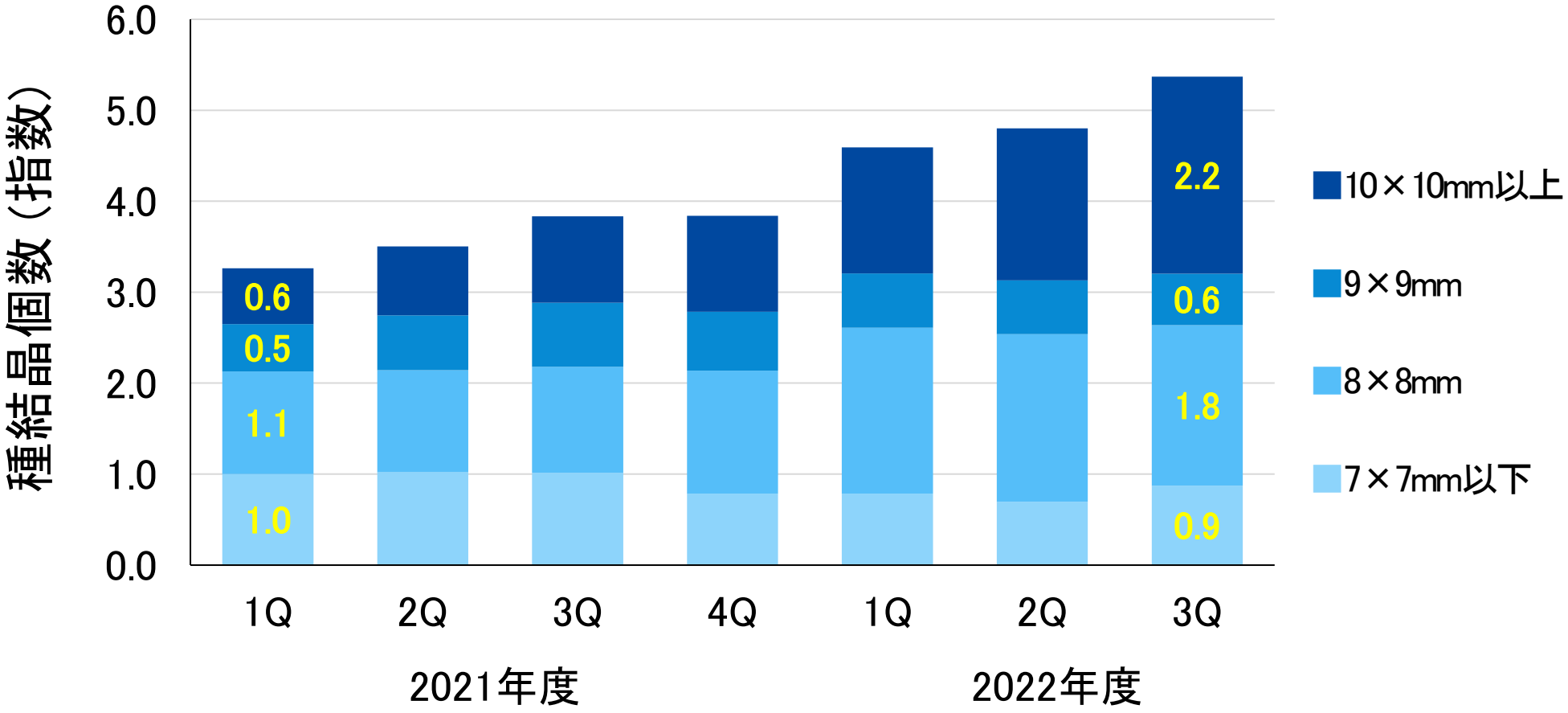
種結晶売上高推移



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

種結晶サイズの推移

※2021年度1Qの7×7mm以下の売上個数を1として指数化



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

B/Sの概況

（百万円）	2020年度	2021年度	2022年度		
			3Q末	前期末差異	状況
流動資産	1,186	1,418	2,835	+1,416	
現預金	948	1,066	2,115	+1,048	
売上債権	100	137	247	+109	
棚卸資産	104	171	325	+153	生産量増で仕掛品や親結晶の増加
固定資産	1,094	1,398	2,908	+1,509	有形固定資産（2,847百万円）
総資産	2,280	2,817	5,743	+2,926	
負債	645	772	996	+223	未払法人税等（267百万円） 設備関係未払金（69百万円）
有利子負債	452	439	373	▲66	
純資産	1,634	2,045	4,747	+2,702	自己資本比率82.6%
負債及び純資産	2,280	2,817	5,743	+2,926	

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

Ⅳ 通期見通し

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

下方修正

2022年度見通し	従来見通し	修正見通し	（従来比）
売上高	3,098百万円	2,706百万円	−12.6%
営業利益	1,365百万円	1,242百万円	−9.0%
	2022年11月11日発表	2023年2月10日発表	

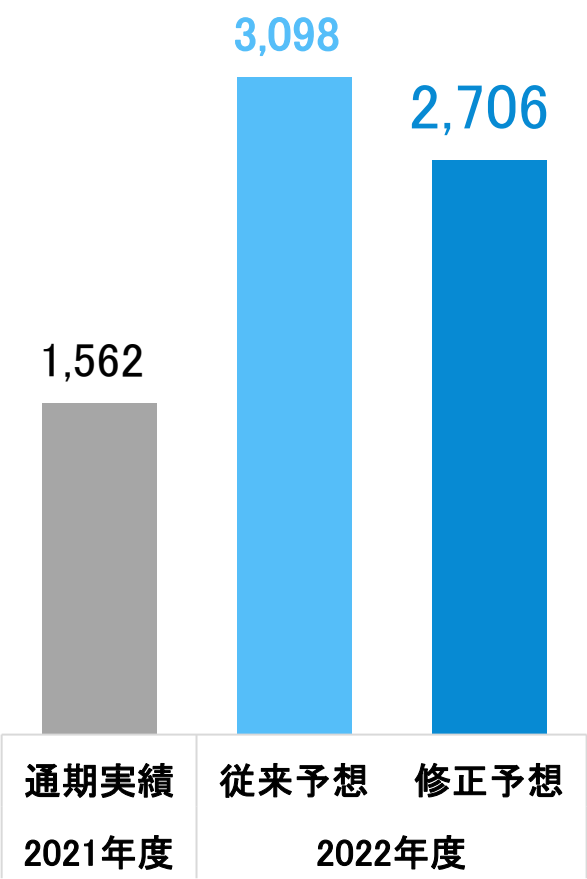
主たる修正要因	従来見通し	修正見通し	
為替前提（通期）	136.4円/ドル*	134.7円/ドル**	−1.7円
大型種結晶比率	38%	40%	+2pt
（10x10mm以上の種結晶比率）	＊11月以降は140円/ドル前提	** 1月以降は130円/ドル前提	

種結晶の第4四半期分受注は減少し、売上が予想を下回る
大型品の比率引き上げと新規ユーザー開拓で売上を確保する
生産効率は継続して向上する

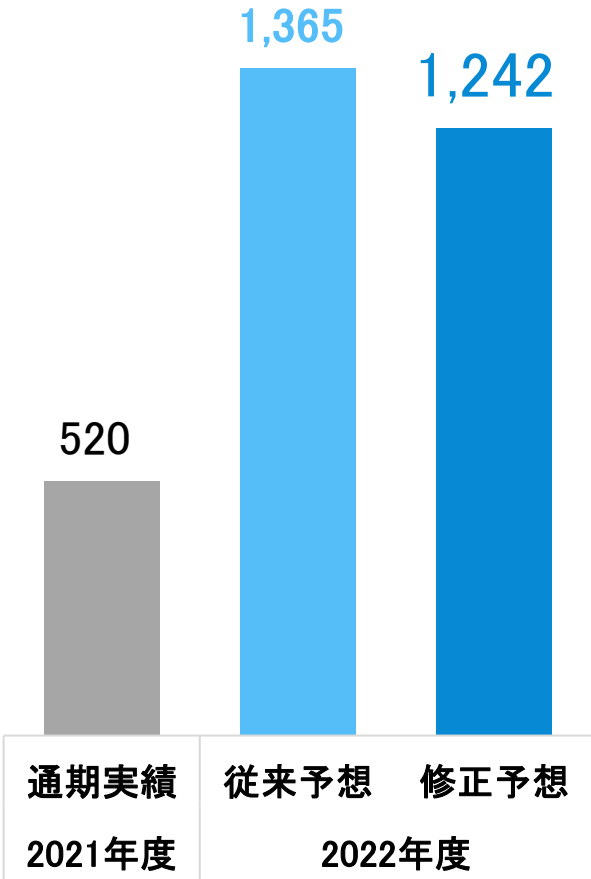
copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

通期見通し

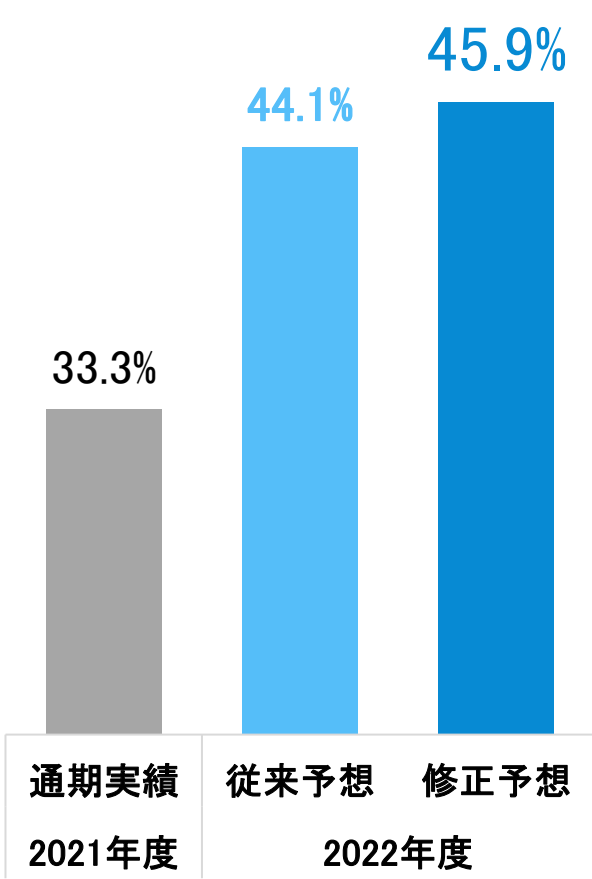
売上高
（百万円）



営業利益
（百万円）



営業利益率
（%）



従来予想2022年11月11日発表 ／ 修正予想 2023年2月10日発表

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

通期見通し概況

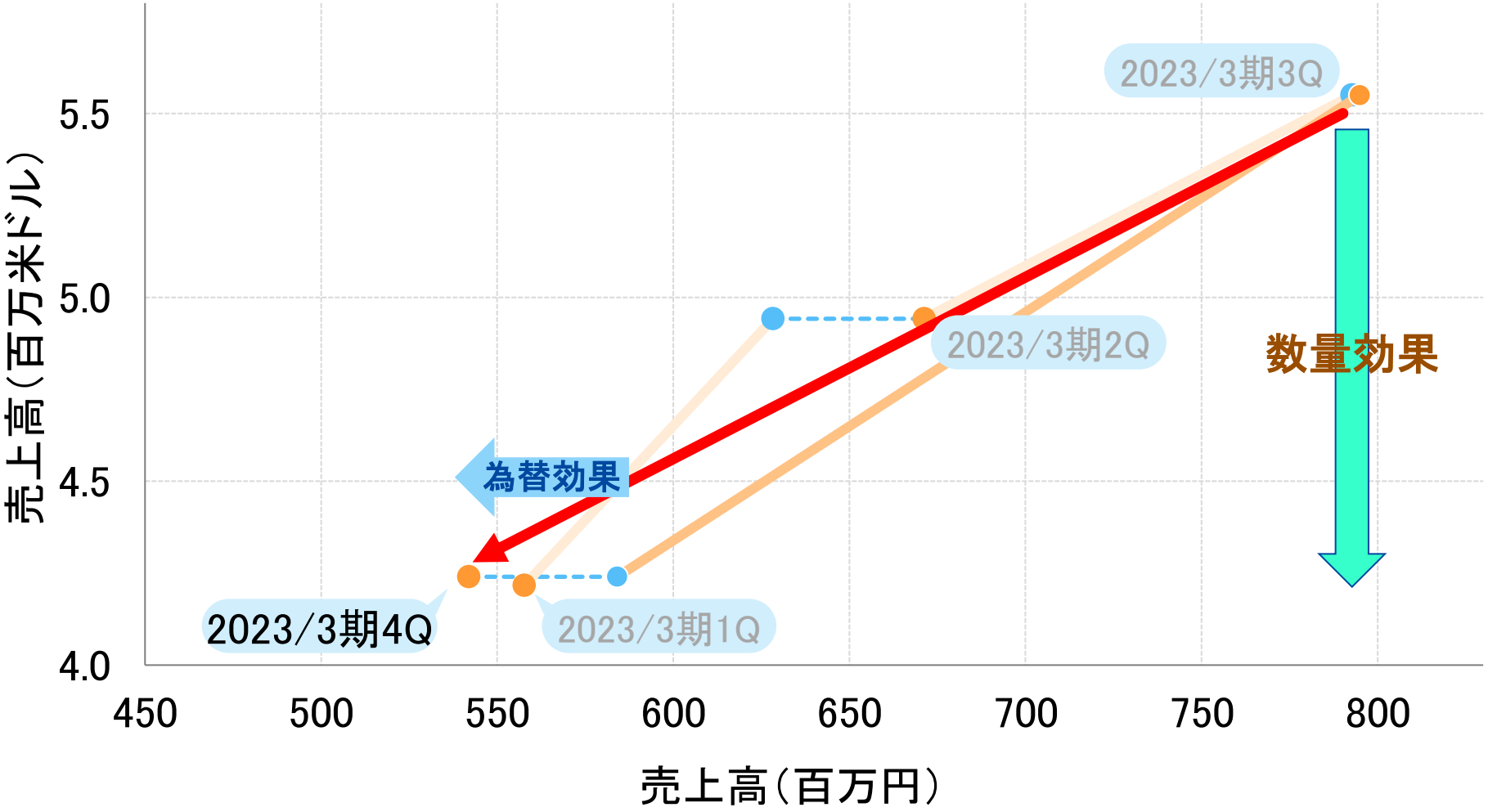
（百万円）	2021年度 通期実績	2022年度 従来見通し（11/11）	2022年度 修正見通し（2/10）	2022年度 対前期比	
売上高	1,562	3,098	2,706	+1,142	+73.0%
種結晶	1,453	2,990	2,591	+1,135	+78.0%
宝石原石	–	5	0	0	0%
基板・ウエハ	47	36	60	+13	+27.7%
光学部品・ヒートシンク	29	47	36	+7	+24.1%
工具素材	32	20	19	−13	−40.6%
営業利益	520	1,365	1,242	+722	+138.8%
経常利益	527	1,428	1,217	+690	+130.9%
当期純利益	374	997	840	+466	+124.6%
成長能力（カラット）	110,000	150,000	150,000	40,000	+36.3%
円/ドル（期間平均レート）	112.1	136.4	134.7	+22.6	+20.2%

*1月以降の為替予測は130円/ドル想定

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

売上増加要因

種結晶売上高 見通し



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

種結晶減少の要因と対策

- ◆小型宝石を中心に、市場に余剰感が出てきたことから、小型宝石価格低下が起った。これによって、小型宝石用種結晶の引き合いが減少した。
- ◆上記の減少を補うために、これまで以上に要求が増加している大型宝石用種結晶の生産を強化する体制にしてシフトして行く。限定的に販売していた12x12mm種結晶の生産増強を進める。
- ◆これまでに引き合いが来ていたが、生産能力の限界の為に受注を獲得出来なかったユーザー（約40社）への供給を進めている。
- ◆13x13mmやそれ以上の大型宝石用種結晶への要求も強いので、開発を促進して、早期の実用化を検討する。

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

考慮すべき事項

◆LGD市場は一時的に在庫調整局面となっているが、本年半ばには回復するとの見込みが、市場関係者のコンセンサス。LGD市場の本格的な成長に備え、島工場の本格的な生産体制を確立する。

◆生産効率の向上を継続して、種結晶の価格競争力を強化する。ユーザーとのコミュニケーションを密にして、市場情勢の変化への対応を迅速に行う。

◆半導体デバイスや量子コンピューター関係のベンチャーが立ち上がっている。大型ウエハ開発を急ぐとともに、これ等の研究開発用途で必要な素材を早期に市場へ投入する。

◆光学部品やヒートシンクで、量産製品が立ち上がりつつある。総合的な生産技術の開発によって、様々な要求仕様に対応する。

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

Appendix

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社イーディーピー　[英語名：EDP corporation]
代表者	代表取締役社長　藤森　直治
設立年月	2009年9月8日（産総研発ベンチャー第100号）
本社所在地	大阪府豊中市上新田4丁目6番3号
工場	横江工場、島工場
資本金	14億8,366万円（2022年12月31日現在）
役員構成 （2022/9/30現在）	代表取締役社長　藤森　直治 専務取締役　髙岸　秀滋 常務取締役　林　雅志 社外取締役　北城　恪太郎 社外取締役　加茂　睦和 常勤・社外監査役　岡田　宗久 監査役　西野　德一 社外監査役　池見　達穂
事業内容	ダイヤモンド単結晶の製造、販売、開発事業
売上規模	15億62百万円（2022年3月期）
従業員数	76名（派遣18名を含む）（2022年12月31日現在）
総資産	57億4,387万円（2022年12月31日現在）
主な取引先	インド、イスラエル、米国等の宝石製造メーカー、計測器メーカー、エレクトロニクス関連企業、国内外の各工具メーカー、産総研等国内の研究機関、大学、海外の大学研究機関、台湾、韓国等海外工具メーカー

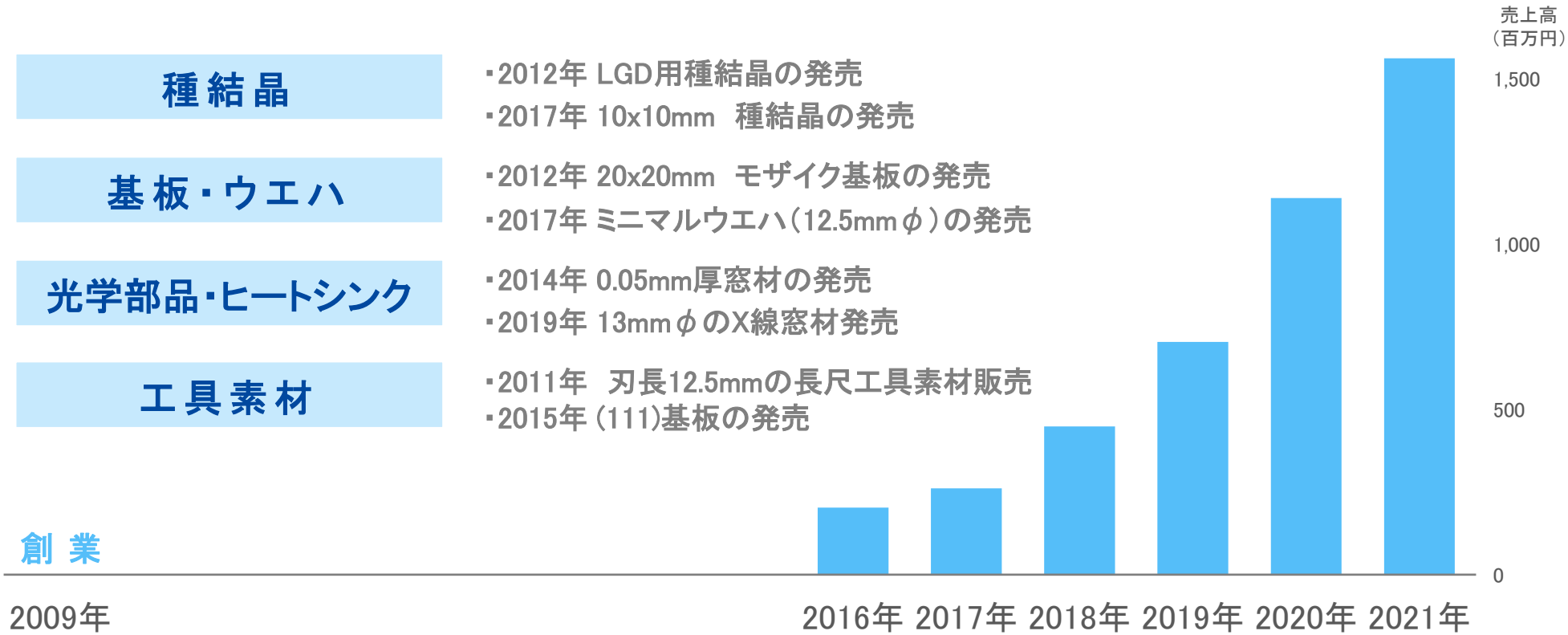
copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

沿革

- 産総研で開発した大型ダイヤモンド単結晶製造技術を事業化を目的として設立
- 気相合成法*により生成する種結晶を2012年に発売し、デファクトスタンダード化
- 研究開発用の各種基板、ウエハ、窓材、ヒートシンク素材等を研究機関や企業に供給

*気相合成法：気相（ガス）から成長したダイヤモンド単結晶を、加工せずに直接取り出す手法

種結晶	・2012年 LGD用種結晶の発売 ・2017年 10x10mm　種結晶の発売
基板・ウエハ	・2012年 20x20mm　モザイク基板の発売 ・2017年 ミニマルウエハ（12.5mmφ）の発売
光学部品・ヒートシンク	・2014年 0.05mm厚窓材の発売 ・2019年 13mmφのX線窓材発売
工具素材	・2011年　刃長12.5mmの長尺工具素材販売 ・2015年 (111)基板の発売



copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

当社マーケットポジション

- 当社が製造販売する種結晶供給はLGD市場の最上流に位置
- LGDを用いた宝飾品は価格面・品質面での安定性を追い風に着実に浸透

LGD市場

上流 → 下流

グローバルサプライチェーン

種結晶製造

成長

市場規模
90～95億ドル*

カット・研磨

市場規模
640億ドル*

鑑定・販売

消費者

主要プレーヤー

EDP Excellent Diamond Products
気相合成ダイヤメーカー
超高圧ダイヤメーカー

原石成長メーカー による内製も

原石成長メーカー

カット・研磨メーカー

ルース製造メーカー

鑑定会社
宝石商
宝石店

*出所：Bain and Company「The Global Diamond Industry 2020-21」 ラフ、ルースの市場規模は天然ダイヤモンドを含む

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

LGD市場規模　生産高

- ダイヤモンドは宝石市場が最大、研磨剤など他用途の10倍以上の規模があり重要
- 世界のダイヤモンド宝石市場はおよそ1.1億カラット、うち6%程度がLGD市場
  LGDは鉱山開発による自然破壊等が無く、シェアは今後も拡大する見通し
- 気相合成法（CVD法）は高品質、大型宝石製作に最適な技術

世界のダイヤモンド宝石生産高

2020年見通し

ダイヤモンド宝石
1.1億カラット（22トン）
1～3%成長見込み

（写真提供：Lusix）

LGD市場
600～700万カラット
（全体の5.5～6.4%）
15～20%成長見込み*

気相合成法の宝石
300～400万カラット
（種結晶を用いて製造）
当社の種結晶販売先

出所：Bain and Company「The Global Diamond Industry 2020-21」

*1カラット以上、ホワイト、エクセレント、カットストーン（1カラット＝0.2グラム）

Copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

当社の量産技術

- ◆ 産総研が開発の製造技術量産化のために、藤森*が在職中に創業
- ◆ モザイク結晶を使うユニークな製造フローを確立し種結晶等を製品化

*当時 産総研ダイヤモンド研究センター長/現 当社代表取締役社長

モザイク結晶自体を親結晶として用い、イオン注入による分離技術で、親結晶と同じサイズのモザイク結晶を量産

モザイク結晶を使用する量産技術		製品化技術
ラボレベルの技術を量産技術に発展	個別プロセスの改良、生産性向上、量産規模などを達成	ユーザーの多様な要求に応える体制 高付加価値製品指向

独占実施権

特許

- ◆ 板状単結晶製造技術 — イオン注入による成長結晶の分離技術
- ＋
- ◆ モザイク結晶製造法 — 複数の単結晶を接続し、大面積の疑似単結晶を製作する技術

- プロセスが確立して10年以上経過
- ノウハウを大量に蓄積
- 量産のカギになる親結晶を大量保有

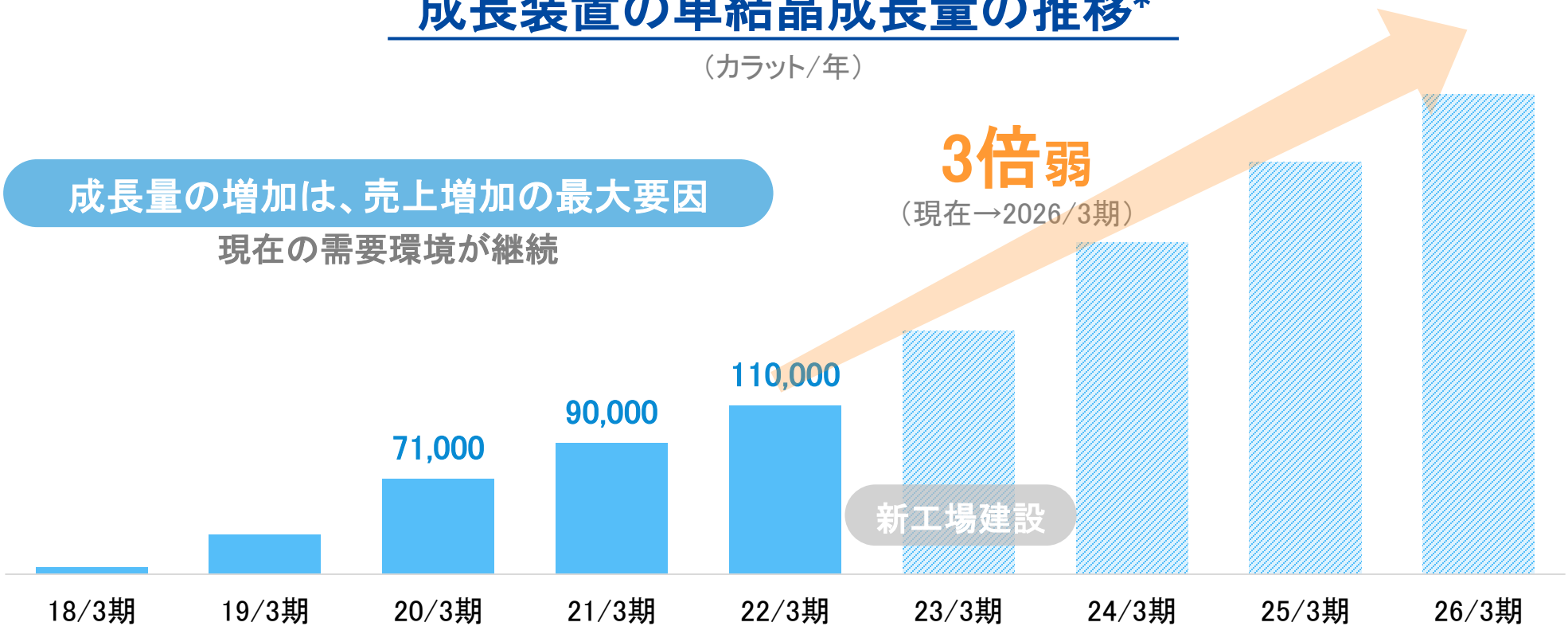
copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

当社の生産体制

- 増産のため建設して来た新工場（島工場）が完成し、22年11月に本格稼働
- 今後、毎年設備投資を進め、2026年3月の成長能力を現在の3倍弱に拡張
- 新成長装置の導入により、成長装置1台当たり生産能力の倍増も目指す

成長装置の単結晶成長量の推移*

（カラット/年）

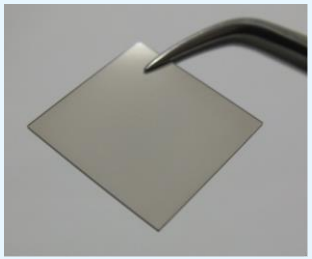


（2022/3期以降は計画）

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

技術開発による新市場創成

- 当社のダイヤモンドは大型サイズ+安価+大量生産可能
- 今後、ヒートシンク、光学計測機器、半導体デバイス向けの素材市場創成にも挑戦

当社単結晶	ダイヤモンドの優れた物性	市場創成
大型 + 低価格 + 大量生産 	半導体特性	◆ パワーデバイス、センサー等の新デバイスを製作プロセス用ウエハを提供（23/3期を計画）
	高い熱伝導率	◆ 高周波デバイス、パワーデバイス等の温度対策用ヒートシンク、高密度電磁波透過窓等の光学部品
	光やX線の透過特性	◆ 放射光施設、光学計測機器などに使用する窓材やセンサー

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.

財務ハイライト

決算年月		第9期 2018年3月	第10期 2019年3月	第11期 2020年3月	第12期 2021年3月	第13期 2022年3月
売上高	千円	261,304	449,049	704,258	1,139,979	1,562,260
当期(四半期)経常利益又は経常損失	千円	△170,861	19,795	74,140	270,747	527,877
当期(四半期)純利益又は純損失	千円	△175,349	8,723	95,056	253,346	374,816
資本金	千円	183,750	190,000	234,240	477,420	495,170
発行済株式総数	株	17,700	18,200	18,753	21,453	2,180,800
純資産額	千円	696,367	717,590	895,596	1,634,943	2,045,259
総資産額	千円	957,873	1,102,207	1,549,031	2,280,212	2,817,554
1株当たり当期(四半期)純利益又は純損失	円	△101.07	4.88	51.34	131.54	174.13
自己資本比率	%	72.7	65.1	57.8	71.7	72.6
自己資本利益率	%	―	1.2	11.8	20.0	20.4
営業キャッシュフロー	千円	―	―	191,951	440,577	635,000
投資キャッシュフロー	千円	―	―	△434,012	△401,284	△545,005
財務キャッシュフロー	千円	―	―	309,129	525,955	15,666
現金及び現金同等物の期末残高	千円	―	―	372,126	948,034	1,066,995
従業員数	名	26	26	31	34	44

copyright © EDP Corporation. All Rights Reserved.